

伝統芸能と民俗芸能の イコノグラフィー〈図像学〉



きっとあなたも“恋(鯉)”に落ちる
琉球と大和の文化が行き交う江戸時代初期
歴史の中の“あの頃”に

郡司正勝、本田安次らの後は未着手のままであった初期歌舞伎研究を中心に、近世初期の芸能（歌舞妓・能楽・琉球芸能）と絵画・工芸・文芸を縦横に行き来し、日本文化史を図像学の観点から捉えなおす。時を超え意匠から鮮やかに蘇える近世期——珠玉の日本文化論。

児玉 絵里子 [著]

定価 1,980 円 (10% 税込) [本体 1,800 円]

四六判・並製・カバー装、192 頁

令和6年8月発行 ISBN978-4-7646-0154-3



著者略歴

児玉 絵里子 (こだま えりこ)

京都芸術大学専任講師。博士（文学、早稲田大学）

早稲田大学大学院文学研究科芸術学（美術史）修士課程修了。沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員、法政大学沖縄文化研究所国内研究員、文化学園大学文化ファッション研究機構共同研究員。

東京国立博物館学芸部工芸課染織室非常勤職員、国指定重要無形文化財「紅型」保持者 玉那覇有公主宰・玉那覇紅型工房、浦添市美術館嘱託学芸員を経て、財団法人海洋博覧会記念公園管理財団（一般財団法人沖縄美ら島財団）学芸員。退職後、ドナルド・キーン・センター柏崎学芸員などを経て現職。

単著に、『初期歌舞伎・琉球宮廷舞踊の系譜考——三葉葵紋、枝垂れ桜、藤の花——』（錦正社、2022 年）、『琉球紅型』（ADP、2012 年）、『図説 琉球の染めと織り』（河出書房新社ふくろうの本、2005 年）など。

第十回木村重信民族芸術学会賞受賞。第 47 回（平成 30 年度）三菱財団人文科学研究助成採択。

幼少期から、琉球王国最後の国王尚泰王の御令孫 根岸（尚）常子氏の知遇を得る。琉球芸能について、當間一郎氏（沖縄芸能研究）・西江喜春氏（歌三線）・宮城幸子氏（琉球舞踊）・親泊興照氏（琉球舞踊・組踊）・宮城英夫氏（笛）に師事。

早稲田大学および同大学大学院で村重寧教授（現名誉教授）に師事、琳派研究（尾形光琳・俵屋宗達）に取り組む。

〔ご注文・お問い合わせ〕

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

新刊情報・書籍の詳細はホームページを御覧下さい。
<https://kinseisha.jp/>



注文書

書店様番線	注文数	伝統芸能と民俗芸能のイコノグラフィー〈図像学〉 定価：本体 1,800 円(税別) ISBN978-4-7646-0154-3
	冊	
	お名前	
	〒 ご住所	
	お電話	

はじめに——日本文化のところに触れる図像学

第一章 込められたものがたりの始まりは

——鯉と恋と「扇の的」《阿国歌舞伎・遊女歌舞伎》

一 「柳橋水車図屏風」が放つ金色の妖気

二 「遊女柳橋扇面流図屏風」を解く「鍵」は

——七面の絵扇

第二章 あらわれた柳の大樹の「謎」

——宇治の橋姫と『歌舞伎図巻』『鐘聞』

一 どうして柳の木があるの

——柳は夢か幻か。「鐘聞」の「謎」

二 「月」が導く「時（時代）」の意匠

三 江戸時代の表象世界を読み解く「鍵」は

——たとえ時が移ろうとも……波に洗われた千鳥の足跡は永遠に残る

第三章 舞踊図・画にとどめられた一瞬の舞姿

——初期歌舞伎舞踊の「型」の成立と「舞踊図」の誕生

《遊女歌舞伎》

一 描かれた「舞踊図」の謎

——江戸時代初期に花開いた女性の舞踊姿とは

二 意匠が伝える由来

——鳳凰の表された意味は

三 国宝 琉球国王尚家伝来紅型衣裳と左三つ巴紋

——海を越えた意匠

第四章 藤の花枝に込められた想いは

——大津絵「藤娘」の「謎」

一 大津絵「藤娘」の「謎」

——あなたは誰？

二 「謎解き」のスタート

——解く「鍵」「藤の花枝」

三 黒紅地小袖の「娘」

——描かれた「踊衣裳」

四 藤娘と「恋の縁結び」

——藤の花を折りて……（在原業平）

五 「笹を藤に持ち替えて」の謎

——飛び出た藤の花・「絵姿」・記された「ことば」

第五章 洛陽の時と別れ

——画に響くのは謡の詞「誰が袖図屏風」に込められた能の

ものがたり《若衆歌舞伎・野郎歌舞伎》

一 配された情景に物語が流れ出す

——日本美術における「御所解模様」

二 画に響くものは謡の詞章

——根津美術館蔵「誰が袖図屏風」

第六章 軒端の梅と朝露の花

——歌謡と芸能、琉球宮廷舞踊と大和文化

一 軒端の梅と朝露の花

——世阿弥作「東北」（仕舞）と玉城朝薫「かぎやで風」

二 琉球に伝えられた京の都の「淀の川瀬の水車」

——「江戸下口説」

三 琉球宮廷舞踊 古典女踊り「諸屯」と大和の宮廷文化

四 「古今和歌集」と琉球芸能の幕開け祝儀舞踊

——若衆踊「若衆特半節」

五 「楽童子」はなぜ元服前の少年であったのか

——琉球宮廷舞踊 古典女踊り「柳」

六 琉球に伝えられた「小野小町」

七 咲くやこのはな

——琉球宮廷芸能に咲いた「藤の花」

図版典拠・映像一覧

あとがき——図像学と生きる深さ